

水資源機構 入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成29年9月28日(木) 本社会議室		
委員	角田 茂(学校法人参事) 中村好男(大学教授) 篠原焔夫(弁護士) 栗田 誠(大学院教授)		
審査対象期間	平成29年4月1日～平成29年6月30日		
抽出案件	総件数	5 件	(備考)
工事	一般競争入札	1 件	
	公募型指名競争入札	0 件	
	通常指名競争入札	1 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサルト	公募型プロポーザル・簡易公募型プロポーザル	1 件	
	公募型指名競争入札・簡易公募型競争入札	0 件	
	標準プロポーザル	0 件	
	一般競争入札	1 件	
	通常指名競争入札	0 件	
	随意契約(競争性のある)	0 件	
	随意契約(特命随意契約)	0 件	
	補償契約	1 件	

1. 委員からの意見・質問、それに対する回答等

(1) 一般競争入札(工事) 【今切川河口堰制水ゲート4号外整備工事】

意見・質問	回答
・2、3門のゲートを1回に発注して、いっぺんに工事をやったほうが全体としては工事費用は安価になるのではないか。	・洪水期の期間があり、その期間は作業ができませんので、冬場だけの作業になります。施工期間が連続していないため、毎回1門ずつの作業となります。
・予定価格について、業者側が積算するに当たって、どの程度の情報を把握できるのか。機構が公表している資料を見れば、どの程度まで確度の高い予定価格を推測できるのか。	・仕様書とは別に参考資料として、機構が積み上げている作業の工数、人数をいったものを提示しています。それから積算基準も公表しています。機器費について、どういうふうに業者側が想定をするかになりますが、情報公開で資料を手に入れて調べれば、かなりの精度で積算できると思います。
・過去の工事を含め、落札者をほぼ2社で分け合っているように思えるが、他社の参入する余地はないのか。	・旧吉野川河口堰と今切川河口堰の納入者になります。本件の対象ゲートは大型のゲートになりますので、これをつくれる業者数はかなり制限されます。その中で大型ゲートの整備ができるという参加要件を設定していますので、実績のある業者がある程度限られてしまう状況です。
・今後もこの2社で、落札率は100%に近い率で落札されるということか。	・落札率は、今年度は99.4%、28年度は98.2%、27年度は87.2%、26年度は96.9%と変動はしています。また、参加者を増やすために、参加要件である同種工事の実績を会社には求めています。技術者に対しては求めないという緩和

	を昨年度から実施しています。
--	----------------

(2) 指名競争入札（工事） 【一庫ダム貯水池周辺維持管理工事】

意見・質問	回答
・一般競争入札を実施したときに入札を辞退された理由は把握しているか。	・聞き取りによると、専任の技術者が確保できなくなったということです。
・一般競争入札で辞退した業者を指名競争入札のときに指名した理由はなにか。	・同種工事としての要件は満たしていますので、排除する理由もないと判断して、指名競争入札のときも指名しています。
・一般競争入札で辞退した業者は、そのときは幾らで入札したのか。また、指名競争入札のときに幾らで入札したのか。	・一般競争入札のときは辞退しましたので応札していません。指名競争入札のときの入札額は、2848万円でした。

(3) 簡易公募型プロポーザル（土木関係コンサルタント業務）

【オオサンショウウオ調査等業務】

意見・質問	回答
・今回なぜこのような調査を実施することになったのか。	・オオサンショウウオは国の天然記念物でもありますし、生息環境が変わるといふことであれば、保全対策を行わなければならないといふことで取り組んでいます。
・特殊な業務のように見受けられるが、参加した4社ともほぼ同じような金額を提示しているのは、何か理由があるのか。	・入札説明書において、機構が算出した目安の金額を提示しており、ぎりぎりの範囲で出来るだけのことを提案してきたのだろうと思います。
・目安となる金額はどのように算出したのか。それが難しいから、業者から提案してもらおうという手続きを行っているのではないのか。	・機構で考えられる最低限の調査内容で算出しています。ただし、どういふやり方法で、より確実にオオサンショウウオを見つけるかといふ部分については、具体的に仕様書の中では示せないため、機構が提示した数量の中で、より確実に個体を探し出せることを、専門のコンサルタントにお願いし、提案を出していただいたといふことです。
・予定価格の設定にあたり、特定者の参考見積をベースに算出するルールだと思うが、複数の見積を参考にしながら設定するほうが望ましいのではないのか。平均や一番低いものとするやり方があると思う。	・プロポーザル方式の場合は、提案いただく内容毎に実施してもらう内容も異なるため、何が一番いいのかを選んで、その提案内容を確実に実施してもらうために、提案いただいた歩掛を採用して設定するという仕組みになっています。
・評価の点数は、複数者で評価して平均を出しているのか、それとも事務所の総意として点数を決めているのか。	・最終的には事務所の総意となりますが、その前に職員3名が面接や提案書の内容をそれぞれで評価して、合議の上で評価を決めています。それを事務所内の委員会に諮り、了解を得ています。

(4) 一般競争入札（土木関係コンサルタント業務）

【早明浦ダム貯水池周辺地すべり観測解析等業務】

意見・質問	回答
・この業務は、毎年度同じ業者が受注しているのか。	・過去5年については、同じ業者が受注しています。
・予定価格は毎年事実上同じなのか。	・当然単価等を反映しますので、必ずしも同じではありません。仕様がかわるところもありますが、それほど大きく変わらない状況にあるかと思います。
・地震時にも調査するとのことだが、業務期間に地震が発生しなかった場合の処理はどうなるのか。	・地震の調査は、仕様書では起きた場合は指示することがあるとしており、当初の設計では積み上げはしていませんので、実施する場合は設計変更の対象となります。
・継続して業務を実施しており、毎年の成果から一定の方向性あるいは問題点などが整理されていると思うが、例えば5年後、10年後にどういう現象が想定されるかというシミュレーションは検討しているのか。	・地すべりというのは、動きのあるものとなないものがあり、中には動きが止まるものもあります。観測を継続していくと、そのような傾向が見えてきますので、それを踏まえて、例えば調査箇所を減らす、あるいは逆に重点的に計器を増やすなどというように反映していくという考えで継続しています。

(5) 補償契約 【土地売買契約書】

意見・質問	回答
・測量、分筆して一部を買い取ったということだが、測量費用や分筆費用は機構が負担するということによいか。	・機構が負担します。
・同じ日にもう1件契約しているが、これは隣接する土地か。	・そのとおりです。

2. 委員会による意見の具申又は勧告

なし

3. 問い合わせ先

埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2

ランド・アクシス・タワー内

電話 048-600-6500

水資源機構入札等監視委員会事務局

技術管理室契約企画課長 田村 三明 (内線 2251)

技術管理室担当課長 足達 謙二 (内線 4631)

用地管財部用地補償課長 杉浦 正人 (内線 2331)